

古屋国際センターホールにて、中国四川の現地報告会と今後の支援のあり方について、の意見交換会が行われました。

私（栗木）も、参加させていただきましたが、メディア情報でその悲惨さは分かっているつもりでしたが、現地で支援活動が続けている方の直接の報告は生々しいものでした。

中国という、地理的には遠いですが様々な面で「異国」を感じる「被災地」にどのように支援が可能か？改めてその難しさも感じつつ「何より被災者のために」を合言葉に、可能な限りの支援を考える必要があると感じました。

以下は、R S Y代表栗田さんのご報告です。

又、今回は、「岩手・宮城内陸地震」の支援のため現地入りしているR S Y浦野さん（事務局長）の最新報告もつけさせていただきます。

皆様

栗田です。お世話になります。

ご案内させていただきました中国四川大震災現地報告と今後の支援を考える会を昨日開催しましたところ、100名を超える方々にご参加いただきました。皆様方には何かとご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

6月13日に帰国されたばかりのCODE吉椿氏からは、地震直後の生々しい現実や以降約1ヶ月に亘り小地域の被災者とともに井戸掘りや田植えとともに汗を流し、語り合われた経緯から、住民のエンパワーメントも生まれてきた。今後も寄り添うことを大切に、支援活動を継続したいと報告がありました。またNVNAD渥美氏からは、被害の甚大さ（東海・東南海・南海地震に匹敵する）、民族の多様さ、そして特にオリンピック後のトーンダウンを予測し、「お隣としてのボランティア」「観光で行く」などのアクションが必要であり、また現代中国をもっと勉強しなければならないとも指摘されました。

参加された方々は、「とにかく生々しい現実を知った」「やはり報道だけではわからない」など、お二人の報告から現状を知らされ大変参考になったという感想を多くいただきました。また、今後の具体的な支援策については、本会をその第1歩として引き続き「作業部会」を設置して検討を続ける賛同を得ました。

復旧・復興はまさにこれからが本番です。被災者の方々に「応援していますよ」「忘れてはいませんよ」という市民レベルの支援をこれからも模索していきたいと思っております。今後ともよろしくご支援・ご協力くださいますようお願いいたします。

■作業部会の参加者を募集しています！

今後の具体的な支援メニューを一緒に考えるため、不定期に会合を持ちます。どなたでもご参加いただけますので、ご希望の方は事務局までお申し出ください。

■メーリングリストを新設します！

作業部会の参加の可否にかかわらず、メールを通して意見交換していただける方を募集します。ご希望の方は事務局までお申し出ください。

■ 支援金を募集しています！

郵便振替：00800-3-126026 加入者：特定非営利活動法人レスキューストックヤード

※通信欄に必ず「中国四川大震災支援」と明記してください。

< 浦野さんの報告 >

浦野です。先日より現地で活動していた戸口さん（日本災害救援ボランティアネットワーク・N V N A D）、南里さん（N P O 法人 N P O 愛知ネット）が帰られます。現地や社会福祉協議会のサポート役として、地元の方々の信頼を得つつ、精力的に活動して頂きました。本当にお疲れ様でした。

また引き続き、山形市市民活動支援センター千川原さんら、そして大妻女子大学の千川先生も現地入りされています。

○ 今日の動き

- ・ 避難所の常駐スタッフ同行
- ・ ボランティア受付の流れに関するマニュアルの作成など、外部スタッフ間で業務の引継ぎができるような環境づくり。
- ・ 避難所へパソコン・プリンター・インターネット回線・固定電話 1 本ずつを設置（千川先生対応）。

○ 避難所の様子（自主避難所）

- ・ マスコミなどの対応で、被災者の皆さんも疲れているのが顕著に分かる。負担を軽減するために、避難所内では訪問者については、必ず事務室を通してから入室してもらうよう流れを作っている。事務室には市役所の職員も配置されている。ケアマネージャーがマッサージ実施したところ好評だったため、柔道整復士によるマッサージボランティアを派遣した。
- ・ 昼食は、菓子パン（パンの缶詰）・野菜炒め・野菜ジュースだった。調理室はあるも、お湯を沸かすぐらいしか使っていない。自衛隊以外からは、炊き出しはない。お風呂は必ず入っている。お風呂・トイレ以外はあまり動かない様子。
- ・ 90 歳代の高齢者が、近所の人に美容院に連れて行ってもらったとのこと。少しお化粧品もしてもらって、さっぱりリフレッシュできたようだった。自宅については、家の 2 階は片付いていない。「自分としては手伝ってほしいと思うが、主の意見を聞かねば、自分の一存では頼めない。」とのこと。

○ ボランティア班の様子

- ・ ボランティア派遣→5 件程度
- ・ 地元ボランティアや学生が入り、家の片付けや避難所での子どもの遊び相手などを行い、大変喜ばれた。

・特に子どもの相手については、「自分と家のことで精一杯。今後も学校終了後、土日などに数時間相手をしてもらえると助かる。引き続き派遣してほしい。」と、母親から要望があった。今後も継続的に入ることを約束。

・月曜日より、温泉日帰りバスツアー実施予定。希望者 11 名。また、福祉推進委員長が提出したニーズ調査票より、入浴希望が集中している地域があることが判明。今後在宅の被災者へも対称範囲を広げ、バスツアーを実施することを調整する。

・ボランティアセンター周知のためのチラシ作成。月曜日から戸別訪問時に配布予定。

・50 人規模の避難所に「地域助け合いセンター」が設置されている。地元 N P O、社会福祉協議会、地元ボランティア、行政の 4 体制で運営している様子。ボランティアの受け入れ、ニーズ対応を行っているとのこと。ここで、ハートネット福島による炊き出しも行われた様子。

○被災者の声（N P O 法人 N P O 愛知ネット：南里さんレポートより）

自主避難所にて

・80 代女性：屋外に設置している仮設の）トイレの戸は閉めにくくてちょっと困るね。自分たちのような者は、力が入らないし、大変だよ。それから、足湯もいいけど、マッサージは気持ちよかったね。1 月に 1 度、できるなら 10 日に 1 回来て欲しい。

・70 代女性：家の片付けは、大丈夫。でもこの避難所内の清掃を、手伝ってもらおうとありがたい。自分たちが寝食している場所は、自分たちでやるので、それ以外の場所をやってもらえるとありがたい。

3. 会員からみなさまへ

卵・乳・ゴマ完全除去、大豆・米除去解除中の幼稚園児の母です。除去食作りにも最近慣れてきて、子供の肌の状態も落ち着いています。

私がアレルギー支援ネットワークに入会した理由は大地震等の災害時、市の救援対策に不安を感じたからです。自宅と実家の避難袋にアレルギー食の非常食を置いてあるものの、避難所に届く救援物資にうちの子供が食べられる食品があるのだろうか？と考えるとやや不安になります。その為、アレルギー支援ネットワークを始めとする全国のアレルギーの会の横のつながりに期待しております。

匿名希望

4. あれるぎっこおひさまの会四日市

♪あれるぎっこおひさまの会四日市について♪

1. 会の設立年月日：平成 13 年 11 月 28 日

2. 会の設立に至った背景と理由：

それまで「四日市市の学校給食をよりよくする会」で活動していたメンバーの中で、子どもが食物アレルギーを持つ親たちが集り、「四日市市食物アレルギーの子を持つ親の会」を設立。主に、四日市市内や三重県北勢地域に住む食物アレルギーの子を持つ親子を対象に、二ヶ月に一度の定例会、食物アレルギーに関する勉強会、情報交換、アレルギークッキング、学校給食の除去食対応に関する相談や、除去食レシピの交換、行政への要望（給食や防災）などの活動を行ってきた。そして平成18年10月、それまで食物アレルギーに特化していた活動を、アレルギー全般に広げ、会名も「あれるぎっこおひさまの会四日市」に変え新たなるスタートをきった。

3. 会名にこめられた思い：

アレルギーの子が、のびのびと、そしてアレルギーも個性のひとつとして捉えられ、安心して生活ができますように・・・そして、アレルギーっ子が、おひさまのように明るく輝き、毎日にこにこと暮らせますように・・・そんな思いを会の名にこめて活動しています。

4. 会の主な活動：

- ①定例会・交流会（基本的に2ヵ月に1回）
- ②アレルギーに関する情報交換
- ③アレルギーに関する勉強会・講演会
- ④学校給食における除去食対応に関する相談やアレルギー全般に関する相談
- ⑤行政への働きかけ（学校給食、学校生活、防災）etc.
- ⑥アレルギー・クッキング（3～5大アレルゲン除去食&おやつ、子どもクッキングetc.）
- ⑦アレルギーに関する普及啓発活動全般

5. 沿革：

・平成12年11月25日～11月26日
「アレルギーの会全国交流会」（大府）参加

・平成13年 6月23日
「東海アレルギー連絡会」発足につき加盟

・平成13年 9月
「あいちアレルギーネットワーク」に加盟

・平成14年10月28日
四日市市教育委員会へ「学校給食におけるアレルギー対応についての要望書（第一回）」を提出 → 献立の加工食品の全成分表をアレルギーの子の親に渡してもらえるようになり、
献立表や給食だよりにその旨毎月記載され、周知されるようになりました。また、就学前のアレルギーや給食の除去食に関する相談についても積極的に取り組んでいただけるようになりました。

・平成15年10月29日

四日市市教育委員会へ「学校給食におけるアレルギー対応についての要望書（第二回）」を提出

→ 四日市市の学校給食でも個別小鍋調理が実施されるようになり、各校でのアレルギーの個別対応も急速に進めていただくことができました。

・平成16年2月22日

「アレルギーっ子の防災フォーラム東海四県交流会」に参加

・平成17年8月21日～ 8月22日

「アレルギーの会全国交流会」（浜松）に参加

・平成17年12月22日

三重県議会への「食物アレルギーを有する児童生徒への適切な対応についての請願書」提出に参加 → 三重県議会で請願書が以下の内容で決議されました。

①学校給食を実施している県内各市町村教育委員会において、食物アレルギーを有する児童生徒の実態を把握し、その対応策の検討が行われるよう働きかけること。

②食物アレルギーを有する児童生徒の対応について、学校栄養職員および教職員対象の研修を検討すること。

③食育の推進に関する活動を効果的に促進する中で、食物アレルギーを有する児童生徒への適切な対応が進むよう、県内各市町村教育委員会や小中学校に働きかけること。

・平成18年 9月19日

四日市市防災対策課へ「アレルギーっ子の防災に関する要望書」を提出

→ 他のアレルゲンに比べて劇症型アレルギー反応が起こりにくいとされる米、特に、アルファ米の備蓄を増やしていただき、アレルギー対応の必要性についても理解が進んだと思われます。

・平成18年11月

「アレルギー支援ネットワーク」に加盟

・平成19年 1月21日

「三重県アレルギー連絡協議会（仮称）」に加盟

・平成20年 1月27日

講演会

「災害時にアレルギーの子どもたちは？」

東海・東南海地震にどう備えるか

アレルギー児の防災について阪神大震災の教訓に学ぶ・・・」を開催

・平成20年 3月18日

四日市市教育委員会へ「学校給食におけるアレルギー対応についての要望書

(第三回)」を提出

♪あれるぎっこおひさまの会四日市♪

代 表 浅川 TEL & FAX : 059-345-2390

事務局長 芳野 TEL : 059-356-8011 / FAX : 059-356-8012

5. 第Ⅲ期アレルギー大学 開講 ～三重県講座を終了しました～

一昨年、名古屋で初めて開講しました「アレルギー大学」は、医学・食品学・栄養学など全 6 講座と 13 調理実習で、のべ約 500 人の受講者がありました。

そして、昨年は名古屋会場に加えまして、静岡県・浜松市でも開講し、全 11 講座と 16 調理実習で、のべ約 900 人の受講者がありました。

さらに今年度は、新たに三重県でも開講し、名古屋・浜松と合わせ全 26 講座と 11 調理実習に加え 5 つの特別講座を開講しており、すでに三重県における全講座を終了しました。

5/10 から 6/1 までの間に、四日市市と津市において全 5 講座と 2 調理実習で、のべ 307 名の方に受講していただきました。9 割以上が、(管理)栄養士・調理師・保育士・看護師・養護教諭など専門職種に携わる皆さまでした。教育委員会など自治体の方、三重病院をはじめとした県内の小児科医、四日市・津・鈴鹿・桑名など地元のアレルギーの親の会の方々、アレルギー対応食材の製造会社など・・・様々な方のご協力、ご支援をいただきまして、大盛況のうちに終了することができましたこと、この場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。

受講者の皆さまは、講師の先生が驚かれるほどの熱心さで、アレルギーに関する問題を何とか解決したい、より多くの正しい知識を得たい、というお気持ちが生かされ、ひしひしと伝わって参りました。調理実習では、試食タイムに自己紹介をしながらそれぞれの職場の実情をお話いただき、アレルギー児を育てる親も交えて交流を深めることができました。参加者の声は、別途、掲載させていただきますのでご覧ください。

6/8 より、浜松市での講座が始まっており、初級講座に加えて今年度は新たに中級講座も開講しております。

そして、7/5 からは名古屋会場にて、13 講座 7 調理実習と、5 特別講座が開講されます。

本年度の講座の特徴は、今までの「食物アレルギー」に関する基礎知識の習得に加えまして、「アトピー性皮膚炎」の講座と「教育・保育現場でのアレルギー対策」の講座を、また、特別講座といたしまして、「学校・園のアレルギー事故にどう備えるか」「食品表示をすすめる～検知法・法制度」「離乳食」「親子クッキング」などを用意しております。詳しい内容は、http://www.alle-net.com/blog/event/2008/01/3_1.html をご覧いただくか、第Ⅲ期アレルギー大学担当 園木までお問い合わせください。

たくさんの方のご受講をお待ちしております。

事務局 中西里映子

6. ホームページのお知らせから

A) 食物アレルギーひやりはっと事例集

<http://www.alle-net.com/taisaku/indexn.html>

B) 第3期アレルギー大学「調理実習献立一覧」

<http://www.alle-net.com/blog/event/2008%20alle-dai%20tyouri-kondate%202008.03.12.pdf>

C) 最新版アレルギー大学日程のお知らせ

D) 「ぜん息」症状のある方へ モニター調査にご協力ください

http://www.alle-net.com/blog/event/2007/11/post_17.html

E) 「防災・救援ネットワークシステム」への登録のお願い

http://www.alle-net.com/blog/event/2007/11/post_18.html

7. ボランティア・スタッフ募集

ボランティア・スタッフを募集します

《アレルギー支援ネットワークでは、ボランティア・スタッフを募集しています》

- ・パソコン(ワード、エクセル、アクセス、お絵かきなど)が得意な方
- ・イラストなどを描くのが得意な方
- ・何でもやってみたいなという方
- ・イベント、フェアなどを手伝ってくださる方

まずは、ご連絡ください。お待ちしております。

詳しいことは、事務局までお問い合わせください。

【問い合わせ】NPO 法人アレルギー支援ネットワーク 事務局 (担当：中西)

FAX : 0564-55-5702 e-mail : info@alle-net.com

8. アレルギー支援ネットワーク一般会員募集します

《アレルギー支援ネットワークでは、一般会員を募集しています》

詳しくは、<http://www.alle-net.com/>

「支援ネットについて」の「会員の特典・入会書」をお読みください。

【問い合わせ】NPO 法人アレルギー支援ネットワーク 事務局 (担当：中西)

FAX : 0564-55-5702 e-mail : nakanishi@alle-net.com

★皆さんのお近くで、アレルギーに関心、興味をお持ちの方、アレルギーでお悩みの方がいらっしゃるようでしたら、「アレルギー支援ネットワーク・メールマガ

ジン無料登録」をご紹介ください。

★メールアドレスの変更や、このメールマガジンに関するお問合せは、asn-mailmagazin@alle-net.com (担当：園木) までお願いします。また、今後、アレルギー支援ネットワークのメールマガジンを希望されない方は、お手数ですが、件名に「配信停止希望」と書いてメールをお送りください。(メールマガジン

配信準備の都合上、配信停止手続きと行き違いでお届けする場合がございますが、ご了承ください。)

★このメールマガジンのメールアドレスには、返信はできません。ご注意ください。

★メルマガの転載について
無断転載・転送を禁じます。アレルギーの会などが活動で使用する場合は、事務局担当(園木)sonoki@alle-net.com までお尋ねください。

★会員のみなさまからのご要望、お便り、アレルギーについての疑問などお寄せください。

NPO 法人アレルギー支援ネットワーク

◇事務局◇ 444-0802 愛知県岡崎市美合町三ノ久保 13-3, 103

▽TEL/FAX : 0564-55-5702 ▽E-mail : info@alle-net.com

☆◆-----◆☆